

感染性廃棄物版W D Sの活用を

全産連、新型コロナウイルスに係る廃棄物処理で要望

疫学データシート Waste Data Sheet (WDS)			
WDSは廃棄物の内容を証明し保証するものであり、廃止事業者責任において記入すること。			
1	提出年月日	年 月 日	
2	廃棄物種類	特記管理施設内廃物	感染性廃棄物
3	人間、動物への接触行為、研究活動等に伴って発生する廃棄物のうち、感染性のもの、及び感染の危険性があるもの。また、未使用、非感染性には関わらず、製剤、薬・破損して薬剤になる薬品製品（アンブール・バイアル等）も感染性廃棄物とする。		
4	廃止事業名	名 称 廃止事業に記す 作 所 廃止事業に記す 名 称 廃止事業に記す	場所 廃止事業に記す 担当者 廃止事業に記す 電話 廃止事業に記す
5	廃止事業所	作 所 廃止事業に記す	担当者 廃止事業に記す
6	廃止施設一画	☐ 同上	電話 ☐ 内線 ☐ 外線
7	廃止事業所内に無 菌室がある場合は、 其の計画に添付 すること		担当者
8	廃棄物の性状	☐ 空閉式ボツリ容器 ☐ 液体内容物ボツリ容器 ☐ アンボーール（薬液などの成分） ☐ その他 ☐ スペース ☐ 1 kg ☐ 2 kg ☐ 3 kg ☐ 4 kg ☐ 5 kg ☐ 6 kg ☐ 7 kg ☐ 8 kg ☐ 9 kg ☐ 10 kg ☐ 11 kg ☐ 12 kg ☐ 13 kg ☐ 14 kg ☐ 15 kg ☐ 16 kg ☐ 17 kg ☐ 18 kg ☐ 19 kg ☐ 20 kg ☐ 21 kg ☐ 22 kg ☐ 23 kg ☐ 24 kg ☐ 25 kg ☐ 26 kg ☐ 27 kg ☐ 28 kg ☐ 29 kg ☐ 30 kg ☐ 31 kg ☐ 32 kg ☐ 33 kg ☐ 34 kg ☐ 35 kg ☐ 36 kg ☐ 37 kg ☐ 38 kg ☐ 39 kg ☐ 40 kg ☐ 41 kg ☐ 42 kg ☐ 43 kg ☐ 44 kg ☐ 45 kg ☐ 46 kg ☐ 47 kg ☐ 48 kg ☐ 49 kg ☐ 50 kg ☐ 51 kg ☐ 52 kg ☐ 53 kg ☐ 54 kg ☐ 55 kg ☐ 56 kg ☐ 57 kg ☐ 58 kg ☐ 59 kg ☐ 60 kg ☐ 61 kg ☐ 62 kg ☐ 63 kg ☐ 64 kg ☐ 65 kg ☐ 66 kg ☐ 67 kg ☐ 68 kg ☐ 69 kg ☐ 70 kg ☐ 71 kg ☐ 72 kg ☐ 73 kg ☐ 74 kg ☐ 75 kg ☐ 76 kg ☐ 77 kg ☐ 78 kg ☐ 79 kg ☐ 80 kg ☐ 81 kg ☐ 82 kg ☐ 83 kg ☐ 84 kg ☐ 85 kg ☐ 86 kg ☐ 87 kg ☐ 88 kg ☐ 89 kg ☐ 90 kg ☐ 91 kg ☐ 92 kg ☐ 93 kg ☐ 94 kg ☐ 95 kg ☐ 96 kg ☐ 97 kg ☐ 98 kg ☐ 99 kg ☐ 100 kg ☐ 101 kg ☐ 102 kg ☐ 103 kg ☐ 104 kg ☐ 105 kg ☐ 106 kg ☐ 107 kg ☐ 108 kg ☐ 109 kg ☐ 110 kg ☐ 111 kg ☐ 112 kg ☐ 113 kg ☐ 114 kg ☐ 115 kg ☐ 116 kg ☐ 117 kg ☐ 118 kg ☐ 119 kg ☐ 120 kg ☐ 121 kg ☐ 122 kg ☐ 123 kg ☐ 124 kg ☐ 125 kg ☐ 126 kg ☐ 127 kg ☐ 128 kg ☐ 129 kg ☐ 130 kg ☐ 131 kg ☐ 132 kg ☐ 133 kg ☐ 134 kg ☐ 135 kg ☐ 136 kg ☐ 137 kg ☐ 138 kg ☐ 139 kg ☐ 140 kg ☐ 141 kg ☐ 142 kg ☐ 143 kg ☐ 144 kg ☐ 145 kg ☐ 146 kg ☐ 147 kg ☐ 148 kg ☐ 149 kg ☐ 150 kg ☐ 151 kg ☐ 152 kg ☐ 153 kg ☐ 154 kg ☐ 155 kg ☐ 156 kg ☐ 157 kg ☐ 158 kg ☐ 159 kg ☐ 160 kg ☐ 161 kg ☐ 162 kg ☐ 163 kg ☐ 164 kg ☐ 165 kg ☐ 166 kg ☐ 167 kg ☐ 168 kg ☐ 169 kg ☐ 170 kg ☐ 171 kg ☐ 172 kg ☐ 173 kg ☐ 174 kg ☐ 175 kg ☐ 176 kg ☐ 177 kg ☐ 178 kg ☐ 179 kg ☐ 180 kg ☐ 181 kg ☐ 182 kg ☐ 183 kg ☐ 184 kg ☐ 185 kg ☐ 186 kg ☐ 187 kg ☐ 188 kg ☐ 189 kg ☐ 190 kg ☐ 191 kg ☐ 192 kg ☐ 193 kg ☐ 194 kg ☐ 195 kg ☐ 196 kg ☐ 197 kg ☐ 198 kg ☐ 199 kg ☐ 200 kg ☐ 201 kg ☐ 202 kg ☐ 203 kg ☐ 204 kg ☐ 205 kg ☐ 206 kg ☐ 207 kg ☐ 208 kg ☐ 209 kg ☐ 210 kg ☐ 211 kg ☐ 212 kg ☐ 213 kg ☐ 214 kg ☐ 215 kg ☐ 216 kg ☐ 217 kg ☐ 218 kg ☐ 219 kg ☐ 220 kg ☐ 221 kg ☐ 222 kg ☐ 223 kg ☐ 224 kg ☐ 225 kg ☐ 226 kg ☐ 227 kg ☐ 228 kg ☐ 229 kg ☐ 230 kg ☐ 231 kg ☐ 232 kg ☐ 233 kg ☐ 234 kg ☐ 235 kg ☐ 236 kg ☐ 237 kg ☐ 238 kg ☐ 239 kg ☐ 240 kg ☐ 241 kg ☐ 242 kg ☐ 243 kg ☐ 244 kg ☐ 245 kg ☐ 246 kg ☐ 247 kg ☐ 248 kg ☐ 249 kg ☐ 250 kg ☐ 251 kg ☐ 252 kg ☐ 253 kg ☐ 254 kg ☐ 255 kg ☐ 256 kg ☐ 257 kg ☐ 258 kg ☐ 259 kg ☐ 260 kg ☐ 261 kg ☐ 262 kg ☐ 263 kg ☐ 264 kg ☐ 265 kg ☐ 266 kg ☐ 267 kg ☐ 268 kg ☐ 269 kg ☐ 270 kg ☐ 271 kg ☐ 272 kg ☐ 273 kg ☐ 274 kg ☐ 275 kg ☐ 276 kg ☐ 277 kg ☐ 278 kg ☐ 279 kg ☐ 280 kg ☐ 281 kg ☐ 282 kg ☐ 283 kg ☐ 284 kg ☐ 285 kg ☐ 286 kg ☐ 287 kg ☐ 288 kg ☐ 289 kg ☐ 290 kg ☐ 291 kg ☐ 292 kg ☐ 293 kg ☐ 294 kg ☐ 295 kg ☐ 296 kg ☐ 297 kg ☐ 298 kg ☐ 299 kg ☐ 300 kg ☐ 301 kg ☐ 302 kg ☐ 303 kg ☐ 304 kg ☐ 305 kg ☐ 306 kg ☐ 307 kg ☐ 308 kg ☐ 309 kg ☐ 310 kg ☐ 311 kg ☐ 312 kg ☐ 313 kg ☐ 314 kg ☐ 315 kg ☐ 316 kg ☐ 317 kg ☐ 318 kg ☐ 319 kg ☐ 320 kg ☐ 321 kg ☐ 322 kg ☐ 323 kg	

同連合会は8月に環境省に提出した「新型コロナウイルスによる感染性廃棄物への対応について」の要望の中で、感染性廃棄物版WDSの活用を求めている。もとも感染性廃棄物版WDSは、同連合会医療廃棄物部会が2015年9月に同省に提出した「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニユアル（2012年5月）への意見」の中に盛り込まれていた。その背景には、スプレー缶の混入や水銀使用機器（体温計や血圧計等）の問題等があり医療廃棄物は特にWDSが必要であるのに反してほとんど運用されておらず業者任せになっているという実態があった。

また、感染性廃棄物の内容物は多岐に渡っており、医療機器や器具で血液や体液が付着しているものだけでなく、感染症患者が出ればオムツやリネン類を含めた全てのものが容器に入れられ混入する。単品でないためWDSの記入は困難だ。医療廃棄物部会委員として意見書作成に参加した感

まい発生物は『感染性・感染の恐れのある物』となってしまう。排出側は単品ごとにWDSに記載処理するのは困難で、結局処理業者任せという状態だった。また感染性廃棄物は専用容器に入れ蓋をした後は開けることなく処理されるので、あらゆるものが混入している「

収運・処理業者の感染防止対策に必須

新型コロナウイルスの感染拡大で全国に緊急事態宣言が発令される中、医療機関やそれ以外から排出される新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物の発生量は今後も増加することが予想される。廃棄物処理業者にとっても作業従事者の感染防止、安全確保は喫緊の課題となっている。こうした状況下で、全国産業資源循環連合会（新）は新型コロナウイルスによる感染性廃棄物を廃棄する際には、委託している感染性廃棄物処理業者に対して、当該廃棄物である旨を廃棄前に事前に連絡するとともに、適正な処理のために必要な事項の伝達は、同連合会が推奨する感染性廃棄物取扱シート（WDS）を活用することを提案し、これを指導するよう国に求めている。関係者からは処理業者が必要な情報を共有するためには、使用は必須との声も上がっている。

染色廃棄物処理の関係者

その結果、試薬、フ
レーン・水銀使用機器・
臓器標本など、危険物・
爆発物・有毒物、重金属
類、場合によっては放射
性物まで入っているこ
とがある。「これらは感
染性ではないが、焼却す
ることで有毒ガスが発生
したり、爆発するところ
ある」と指摘する。処分
許可には滅菌処理もある
が、これらを破砕滅菌し
てもそもそも菌が無いの
で意味がなく、有毒・有
害物はそのままとなって
しまう。こうした状況に
ついて、「感染性廃棄物
を『医療廃棄物』とした
ことが、こうした事態を
引き起こした一つの要因
となっている。医療廃棄
物は医療機関から排出さ
れる物の総称のはずが、

の認識で混入する危険物
等の禁じ品を所記してい
るのが特徴となっている
。すでに同連合会が提
案するものに各々がオリ
ジナル項目を追加するな
どして、感染性廃棄物の
契約時に活用されている
。

廃酸、廃アルカリ、汚
泥等のWDSは機器類の
変更等による性状・行程
の変更、排出物が従来の
性状と異なる場合には都
度提出して情報を共有す
るとなっているところか
ら、新型「コロナウイル
スや新型インフルエンザ
」などの新型のものが発生
した場合には、収集運搬
業者（回収員の防衛や中
間処理業者への情報提供
など）も処理業者（速や
かな処理・投入方法の変

20

感染性廃棄物版データシート

ている。実際、こつしたことを防ぎ、排出事業者に意識して理解してもらい、排出事業者と処理業者が正しい情報を共有することを目的に作成されたのが感染性廃棄物版 WDSだ。感染性に特化しており、一定量の WDS の中で、実際に医療廃棄物と

実際のところ。

の姉御業務に当た
、「今回の新型コロナ
イルス事案に対し
IRSを提出して情
報を受けたという話
を聞いたことがな
い。非常に感染
いとされる新型コ
イルスの廃棄物に
際拡大を防止する
感染性廃棄物版
の活用が求められ